令和3年度 病院事務部 重点施策の実施結果

達成状況
 S … 目標を上回る結果となった
 A … 目標通り達成した
 B … 達成したが課題が残っている
 C … 達成できなかった

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定されていた県との合同訓練が新型コロナの影響で中止されたため、単独訓練に切り替えての実施となりました。 ・ コアとなる職員の育成を目的にした研修会を毎月1回継続的に実施しました。 ・ 前年度の医業収益に対する未収金比率は、法律事務所との連携等により前年度から0.057%改善しました。 ・ 診療報酬点数改定に対応するため、早くから情報収集に取り組み、関係部署へタイムリーな情報発信を行いました。 ・ 診療機能維持と経営安定化の両立を目的として、関係部署との調整により、次年度の高度医療機器更新計画を策定しました。 ・ 中期計画の目標に掲げる病床利用率・医業収支比率は、新型コロナ感染症の影響等により目標達成には至りませんでした。 ・ 市民の健康啓発を目的として、新たな動画サイトを病院ホームページで配信しました。
----	---

重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
1 防災対策の強化 (病院総務課)	9月5日に開催される静岡県との合同防災訓練前に、予行訓練及び机上訓練を実施します。	<p style="color: red;">事前訓練を実施して理解を深め、令和3年9月5日に開催される静岡県との合同防災訓練に参加します。</p> <p style="color: red;">令和3年12月5日に病院単独の訓練を実施します。</p>	A	<p>静岡県との合同防災訓練が中止となったため、令和2年度に更新した防災マニュアル・防災体制での防災訓練を病院単独で実施しました。</p> <p>今後も訓練を重ね、新たに見つかる課題解消に取り組み、防災体制強化を図ります。</p>
<p>※ <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年10月29日時点で達成目標等の一部を変更しています(赤字見え消し箇所)。</u></p>				

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
2	人材育成の推進 (病院総務課)	「文化のコアチーム」を編成して定期的に研修会を開催し、職員一人ひとりが上司の指示を待って行動するのではなく、「自分で考え、判断し、行動する」ことができる人材を育成します。	文化のコアチームを再編成し、研修会を10回開催します。 (令和2年度実績：10回)	A	新コアチームメンバーを対象に、6月から3月まで毎月1回研修会を開催し、目標を達成しました。また、コアチームメンバーが、自主的に与えられた発表の場で活動の振り返りを行いました。
3	未収金の削減 (医事課)	未収金の状況を早期に把握するため債権管理システムを活用し、法律事務所と連携して未収金を削減します。	債権の適正な管理と回収業務の効率化を進め、法律事務所による徴収事務を活用し、前年度(令和2年度)分の医業収益に対する未収金比率を0.05%以内とします。 (令和3年1月末実績：0.079%)	A	医業収益の0.016%(3月末現在)の未収比率となりました。前年度から0.057%改善し、目標を達成しました。 未収の状況については、法律事務所による徴収の委託化などの対策は実施しているものの、生活困窮、所持金不足による分納者が多い状況です。今後も粘り強く支払督促を行い、未収金の削減に努めます。
4	診療報酬請求事務の適正化 (医事課)	令和4年4月に予定されている診療報酬改定に対応するため、関連する情報を収集・分析し、院内関係部署へタイムリーに情報を発信します。	診療報酬改定に対応するため、関連する情報を収集・分析し、院内関係部署へ情報を2回以上発信します。	A	診療報酬改正に向けて情報収集を行い、説明会を開催しました(主要な説明会：全体1回、管理会議1回、調整会議1回、医療体制WG1回)。 情報収集においては、WEB等の説明会に出席し、関係部署と情報共有を行い、対応を進めました。今回の改定は、入院において急性期病棟や、地ケア病棟・回りハ病棟などについて、それぞれ「求められる機能・役割」を果たすことが期待される内容となっています。経過措置があるため、今後、施設基準取得を目指し、準備を進めます。

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
5	高度医療機器等の更新 (病院総務課)	関係部署と事業の調整を進め高額医療機器を更新するとともに、次年度以降の詳細な更新計画を作成します。	関係部署と協議し、次年度以降の更新計画を作成します。	B	関係部署と事業調整を進め、高度医療機器としてX線CT装置、X線TV装置、心臓用超音波診断装置等の更新を行いました。また、次年度以降の更新計画を見直し、次年度更新機器の予算要求を行いました。しかし、より詳細な計画とするには把握する機器の不足があるため、更なる見直し検討を進めます。
6	第四次中期計画の推進 (経営企画課)	課題に対し、実行部隊としてのワーキンググループを組織横断的に編成し、現場の意見を中心とした戦略を立て、解決に向けた取り組みを進めます。	病床稼働率を72.3%以上、医業収支比率を91%以上とします。 (令和3年2月末実績：病床稼働率68.8%、医業収支比率85.4%)	C	病床稼働率は67.2%、医業収支比率は86.8%と、目標達成には至りませんでした。 目標達成に至らなかった要因として、特に夏場の患者数が少なかったことがあげられます。医療収支比率の向上を筆頭に、経営改善に向けた取り組みを進めるべく、第四次中期計画のさらなる推進に努めます。
7	市民への積極的な情報発信 (経営企画課)	新たな情報発信ツールを利活用し、市民が必要とする情報を正確に分かりやすく提供できる環境を構築します。	市民の健康啓発に向け、動画サイトを3つ以上作成し、ホームページで配信します。 (令和2年度実績：リハビリ関連情報配信4)	A	令和3年10月に栄養管理関連情報、令和4年1月に臨床工学関連情報の動画サイトをホームページで配信するとともに、きくがわ病院だより「HOSPIA」にも情報を掲載し、市民への周知を図りました。また、令和4年3月には新たにリハビリ関連情報の動画サイトを作成し、ホームページに掲載しました。 今後も関係部署と連携を図りながら、市民が求める情報を配信できるように努めます。